

海外インフラデットファンドの運用開始 ～〈みずほ〉と第一生命の連携により海外インフラ投資を拡大～

アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社¹（取締役社長：安藤 学、以下「AMOAI」）と第一生命保険株式会社（代表取締役社長：稲垣 精二、以下「第一生命」）は、インフラデット案件への投資を行うスキームを共同で開発し、第一生命はアンカー投資家として200億円の投資を決定しました。また、株式会社みずほ銀行（頭取：藤原 弘治、以下「みずほ銀行」）は本スキームに対しAMOAIと連携する体制を構築しました。

AMOAIは本スキームを活用したインフラデットファンド「Cosmic Blue PF Lotus FCP-RAIF」（以下「本ファンド」）を2018年10月26日に組成し、運用を開始しました。本ファンドは、2016年7月に組成され、2018年3月にインフラ投資及びプライベートデット投資の分野で国際的なアワードを受賞²した第1号ファンド「Cosmic Blue PF Trust Lily」に続き、AMOAIが投資顧問会社として運用する2本目のファンドとなります。

本ファンドは、本邦投資家の運用資産と海外インフラ市場を結びつけることで、投資家に魅力的な投資機会を提供し、かつ投資先の国や地域社会の持続的な発展に必要なインフラ事業へ投資を行うものです。また、第1号ファンドと同様、海外プロジェクトファイナンス債権を投資対象として、グローバルに分散されたポートフォリオ運用により、生命保険会社や年金基金等、機関投資家の皆さま向けに、長期安定的なインカムを提供していきます。

本ファンドでは、優良案件への投資機会を獲得するため、投資対象をセカンダリーからプライマリーに拡大し、ファイナンス組成段階から投資家として案件に参加していきます。今後、広く投資家を募り、インフラデットファンドとしては世界トップクラスの規模である1,000億円程度まで運用残高の拡大を目指します。

AMOAIは、今後も〈みずほ〉が有する海外プロジェクトファイナンス分野における豊富な経験・知見とアセットマネジメント分野のノウハウを結集し、国内外の機関投資家向けにインフラ投資の機会を提供していきます。また本ファンドの組成・運用を通じて、海外プロジェクトファイナンスに強みを持

¹ AMOAI（旧みずほグローバルオルタナティブインベストメンツ株式会社）は2018年11月1日付で、株式会社みずほフィナンシャルグループと第一生命ホールディングス株式会社が共同出資するアセットマネジメント One 株式会社（取締役社長：菅野 暁）の100%子会社となりました。

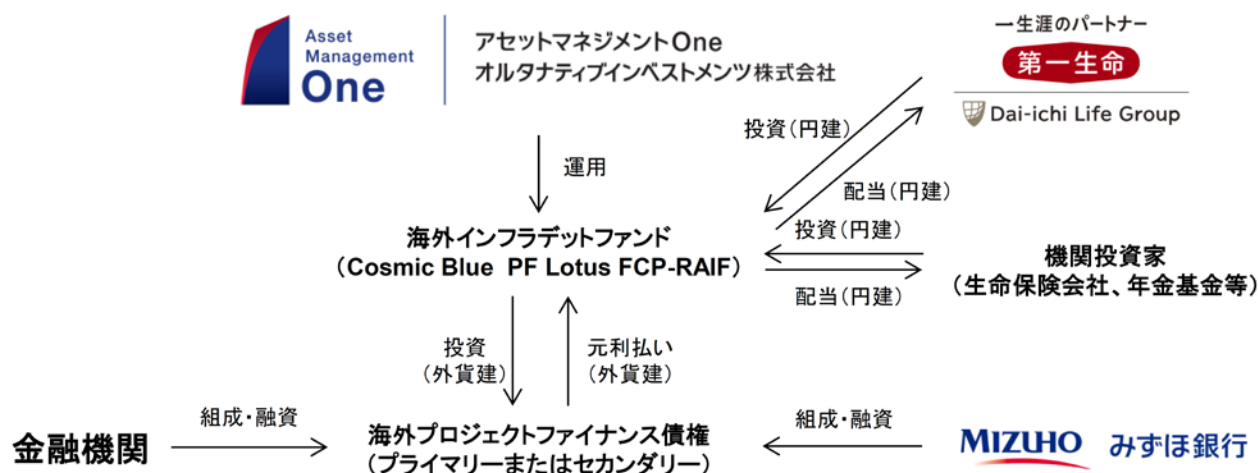
² AMOAIはCosmic Blue PF Trust Lilyを対象として、2018年3月1日に大手オルタナティブ投資情報配信会社のPEI Media Group社より、「Infrastructure Investor Award 2017 - Debt Fundraising of the Year, Global」及び「Private Debt Investor Award 2017 - Infrastructure Debt Manager of the Year, Asia-Pacific」を受賞しています。本表彰は毎年、インフラ投資及びプライベートデット投資の分野で顕著な実績・成果を挙げた法人を表彰するものです。

つ資産運用会社としてのプレゼンス向上を目指すとともに、機関投資家の皆さまの運用ニーズに応えるべく、新たな運用プロダクト開発に注力していきます。

第一生命は、本ファンドへの投資を通じて、インフラ関連海外プロジェクトファイナンスへの投資を拡大し、運用収益の更なる向上を目指します。

みずほ銀行は、本ファンドとの協働を通じたオリジネーション&ディストリビューションを推進することで、インフラ分野への投資意欲が高まっている投資家ニーズに応えるとともに、海外プロジェクトファイナンス分野への取り組みを一層強化し、当該分野での更なるプレゼンス向上を目指します。

【スキーム図（概要）】



【本ファンド概要】

ファンド名称	Cosmic Blue PF Lotus FCP-RAIF
投資顧問会社	アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社
投資目的・投資対象	オフテイク契約等に基づき、長期安定的なキャッシュフローを有するインフラプロジェクトへ分散投資 電力・運輸・上下水・病院等、社会に必要不可欠なインフラが投資対象
投資対象地域	全世界

以上